

任意団体としての活動実績1/2

2014年

- 6月5日 医療介護専用SNSユーザーの有志により、ICTを活用した地域包括ケアシステム構築のためのセキュリティ、構築方法、事例などのノウハウを共有、発信していくことを目的とした全国医療介護連携ネットワーク研究会を任意団体として発足。
- 7月2日 第1回全国医療介護連携ネットワーク研究会(東京都豊島区)を開催。
- 8月23日 第2回全国医療介護連携ネットワーク研究会(東京港区)を開催。当会理事を中心に全国の医師会理事など合計9名が参加。

2015年

- 6月15日 厚生労働省の早朝勉強会「政策研究会」からの依頼で、厚労省幹部(鈴木康裕審議官・迫井正深課長ほか)に医療介護専用SNSのプレゼンテーション実施。
- 6月19日 厚労省幹部(鈴木康裕審議官・迫井正深課長)が、東京都豊島区の山下診療所の医療介護専用SNSを用いた在宅診療を同行視察。
- 7月20日 第3回全国医療介護連携ネットワーク研究会セミナー(第26回日本在宅医療学会学術集会(東京・池袋)シンポジウム)を開催。テーマは「ひろがる・ひろまる、多職種連携システム」。約200名が参加。
- 11月17日 日赤医療福祉フォーラムにて医療介護連携ネットワークについて講演。

2016年

- 6月4日 第4回全国医療介護連携ネットワーク研究会セミナー(第27回日本在宅医療学会学術集会(神奈川・横浜)のランチョンセミナー3およびシンポジウムとして)を開催。ランチョンセミナーの演題は「地域包括ケアシステム構築基盤の多職種連携システムについて」。シンポジウムのテーマは「多職種連携システム: 広まる活用と高まる未来への期待」。前者に約200名、後者に約400名が参加。
- 7月16日 第5回全国医療介護連携ネットワーク研究会セミナー(第18回日本在宅医学会大会(東京・江東)ランチョンセミナー4)を開催。テーマは「ICTで連携する在宅医療・地域包括ケアの実践」。250名(満員御礼)が参加。
- 10月22日 下部組織として「としま医療介護連携ネットワーク研究会」を発足。第1回メンバーミーティングを開催(以後2～3ヶ月に1回の頻度で開催)。
- 11月26日 第6回全国医療介護連携ネットワーク研究会主催セミナー(東京・中央区)を開催。テーマは「医介連携・地域包括ケアの連携ネットワークは、こうすれば構築できる先進事例に学ぶ ICT 活用の実践 ～地域包括ケアの構築のために～」。

2017年

- 4月22日 第7回全国医療介護連携ネットワーク研究会主催セミナー(東京)として「地区医介連ネットワーク研究会設立支援説明会」を開催。演題は「地区医介連ネットワーク研究会 立ち上げ趣旨及び導入のコツ」、「としま医介連 事例報告」。全国の地域包括ケア構築のイニシアティブを取っている医師会理事や行政職員など約20名が参加。

任意団体としての活動実績1/2

- 6月18日 第8回全国医療介護連携ネットワーク研究会セミナーを開催(第19回日本在宅医学会大会(名古屋)ランチョンセミナー9)。演題は「医療介護専用SNSを活用した在宅医療介護連携事例」。約200名が参加。
- 9月17日 第9回全国医療介護連携ネットワーク研究会セミナー(第28回日本在宅医療学会学術集会(東京・新宿)のスポンサードシンポジウム)を開催。テーマは「医療介護専用SNSを活用した 多職種連携の実際 ～地域包括ケア実現のために～」。
- 10月8日 健康生きがい学会第8回大会にて医療介護連携ネットワークについて講演。

2018年

- 4月30日 第10回全国医療介護連携ネットワーク研究会セミナーを開催(第20回日本在宅医学会記念大会(東京・品川)のランチョンセミナー14)。テーマは「医療介護専用SNSを活用した多職種連携の実際」。演題は「(キュア・)ケア志向の在宅医療におけるICT(MCS)の活用」、「医療介護専用SNS MedicalCareSTATION(MCS)を活かしたチームケアの実例」、「地域の医介連について～としま医介連からはじまる多職種連携の実際～」。
- 11月3日 第11回全国医療介護連携ネットワーク研究会セミナー(第29回日本在宅医療学会学術集会(神奈川・横浜)ランチョンセミナー3)を開催。演題は「『食べたい』を支える地域のプロフェッショナルたち～HPNから経口摂取移行への取り組み～」。

2019年

- 7月8日 事例集納本式を開催(東京都豊島区)。金子稚子氏(ライフ・ターミナル・ネットワーク代表、厚生労働省人生の最終段階における医療の普及・啓発の在り方に関する検討会構成員)と、嵯峨崎泰子氏(日本医療コーディネーター協会共同代表理事)の特別ゲストによる招待講演。
- 7月14日 第12回全国医療介護連携ネットワーク研究会セミナー(第1回日本在宅医療連合学会大会(東京・新宿)ランチョンセミナー1)を開催。演題は「Virtual Hospital 在宅医療が病院を超える日～急性期基幹病院と地域多法人による在宅医療の impact」、「どこでも連絡帳による在宅医療・多職種連携、患者タイムライン利用の実践報告」。約600名(満員御礼)が参加。参加者に事例集を配布。
- 9月10日 社団法人化準備開始会議を実施(東京)。
- 9月28日 第13回全国医療介護連携ネットワーク研究会セミナー(第3回全国在宅医療医歯薬連合会全国大会(東京・中央)ランチョンセミナー4)を開催。演題は「職能団体が中心となり ICT を活用して地域をバーチャル病院として機能させる」、「オンライン診療、多職種連携 SNS サービスの今後の展望」、「MCS は(キュア・)ケア志向の在宅医療と相性が良い」。約40名が参加。
- 11月1日 事務局をエンブレース株式会社からクラウドクリニック株式会社へ移管。
- 11月11日 社団法人化に向けての決起大会を実施。
- 12月2日 東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 城北ブロック会主催「『医療・介護連携におけるICT活用の問題点は』(個人情報保護法関連法規の側面から考える)」のセミナー(東京)で、「『ソフトウェアの機能及びセキュリティーチェックの方法等』について」講演。

学会等でのセミナー実施例

例)

- ・単独セミナーの実施(2016年11月26日など)
(全国自治体、医師会から200名参加)
- ・学会セミナー実施(第1回日本在宅医療連合学会大会2019年7月14日)
在宅医療連合学会ランチョンセミナー
(600名満員御礼)



第29回 The 29th Annual Meeting of the Japanese Society for Homecare Medicine
日本在宅医療学会学術集会

ランチョンセミナー3

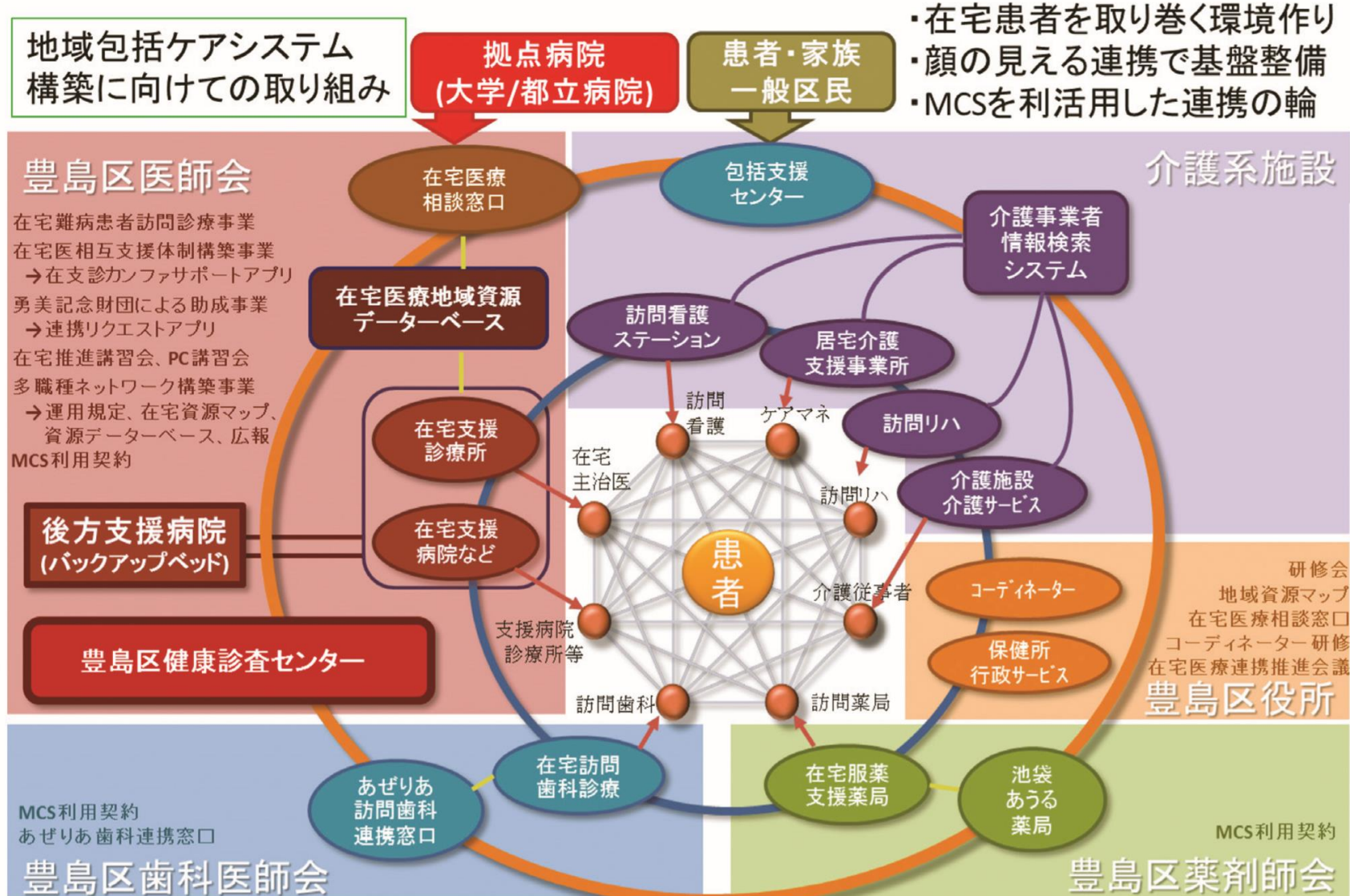
日時 2018年11月3日(土) 12:40~13:40
会場 第3会場 / F205 ~ F206

司会 山下 巖 先生 医療法人社団法山会 山下診療所
全国医療介護連携ネットワーク研究会理事

『食べたい』を支える地域の
プロフェッショナルたち
~ HPN から経口摂取移行への取り組み ~

演者 高田 靖 先生 公益社団法人 東京都葛飾区歯科医師会 副会長
演者 部坂 弘彦 先生 部坂耳鼻咽喉科病院 院長
耳鼻咽喉科医
演者 村崎 佳代子 先生 医療法人社団重光会 本町訪問看護ステーション 訪問看護師
演者 鹿志村 昇平 先生 一般社団法人 葵の空訪問看護ステーション 訪問看護師
演者 会沢 咲子 先生 葛飾区口腔保健センター せりあ歯科診療所 主任歯科衛生士
演者 江村 公良 先生 北池薬局 薬剤師
演者 鈴木 孝幸 先生 東池袋四丁目介護支援センター 介護支援専門員
演者 栗原 俊介 先生 共創未来メディカルケア株式会社 福祉用具専門相談員

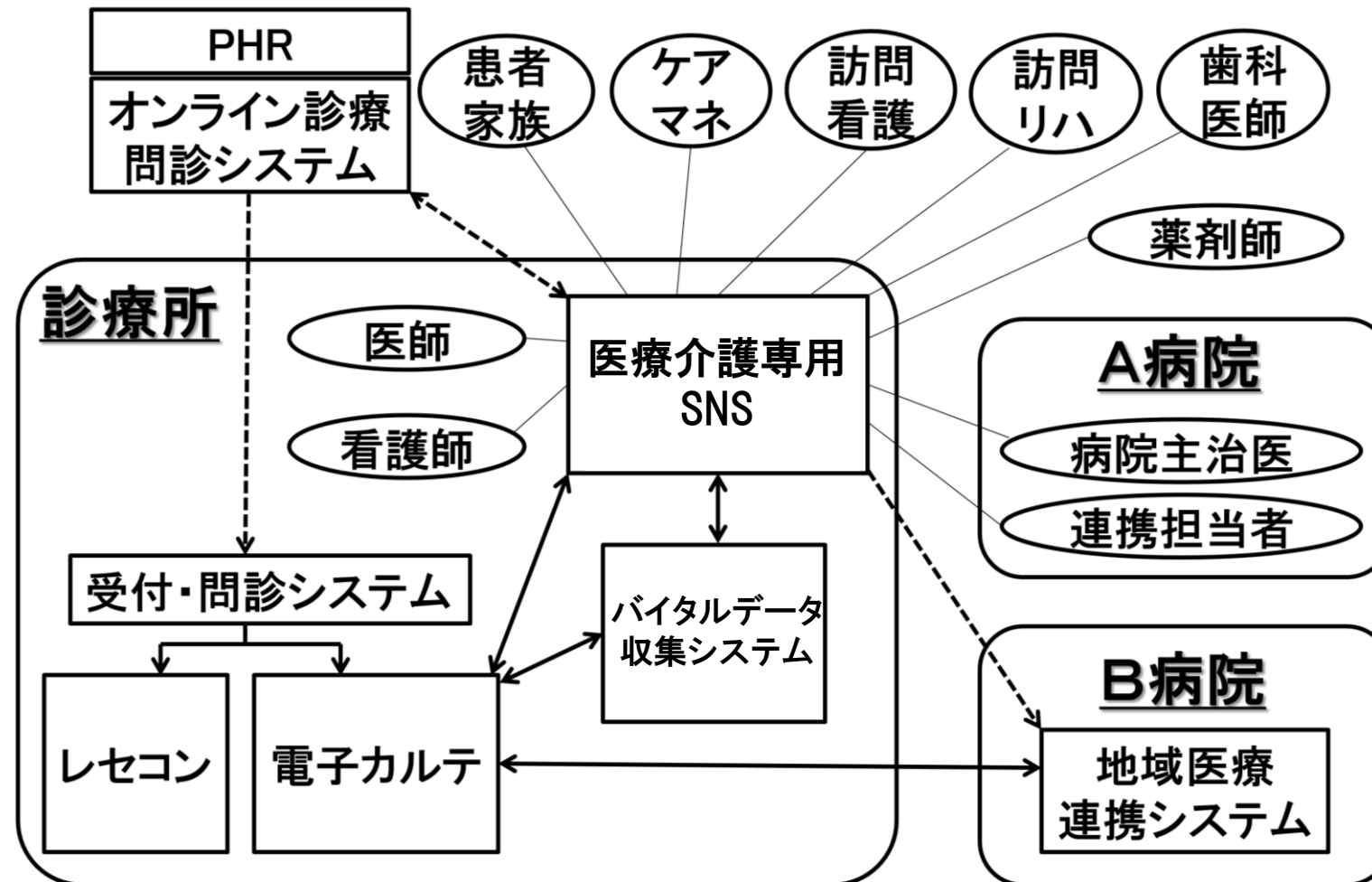
豊島区の連携モデルの紹介



出典: 第8回全国医療介護連携ネットワーク研究会セミナー(第19回日本在宅医学会大会ランチョンセミナー9)講演資料

地域、施設の特徴に合わせたICT事例紹介

例) 豊島区の土屋医院のシステム構成図



出典：在宅新療0-100 第4巻第10号 2019年10月 p956図1(一部改変)